取扱説明書

デジタルオーディオプレーヤー

MR-F10 シリーズ

はじめに

このたびは、オリンパスデジタルオーディオプレーヤーMR-F10 シリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番など、最新の情報については、裏表紙に記載の当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら、当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による、万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書のイラストは実際の製品とは異なることがあります。

電波障害自主規制について

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 航空機内や病院など使用に制限のある場所でのご使用はお避けになるか、その場所の指示に従ってください。
- 本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI 基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

商標等について

- m:robe は、オリンパス株式会社の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- その他、本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。
- 本製品には、株式会社リコーのフォントを使用しています。
- 「SRS」、「TruBass」、「WOW」と「SRS(●)」は、SRS Labs, Inc. の商標です。SRS、TruBass、WOW 技術は、SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- MP3オーディオ符号化技術はFraunhofer IIS社とThomson社からのライセンスに基づき製品化されています。

著作権と著作権保護機能(DRM)について

著作権者に無断でインターネットからダウンロードした音楽ファイル、音楽 CD などの複製や配布またはインターネットへの掲載、再掲載、商用、販売を目的とした MP3 や WMA ファイルへのデータ変換は、著作権法で固く禁じられています。
WMA ファイルには著作権の保護を目的とした DRM(Digital Right Management)が施されている場合があります。DRM が施されているファイルは音楽 CD から変換(リッピング)した音楽ファイルや音楽配信によって入手した音楽ファイルを不法にコピーしたり、配布できないよう制限されています。

本製品に内蔵されている曲の取扱いについて

本製品に内蔵されている曲の著作権は作家およびファイル提供者に帰属しています。
これらのサンプル素材を営利目的で複製、使用すること、第三者に譲渡、転売することは禁じられています。
万一これらに反する使用をされた場合は著作権侵害により罰せられる場合がございます。
また、当社はそれらに関する一切の責任を負いかねますので充分ご注意ください。

データ消失に関する注意事項について

メモリへの記録内容は、誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。大切な記録内容は、パソコンのハードディスクなどのメディアにバックアップして保存されることをおすすめします。記録内容が再生不能となった場合、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

主な特長

- 256MB*[1]/512MB*[2]/1GB*[3] の内蔵フラッシュメモリに、最大 60 曲 *[1]*[4]/120 曲 *[2]*[4]/240 曲 *[3]*[4] を入れて持ち運びできます。
- 有機 EL ディスプレイにより、既存の LCD 画面よりきれいな画面を提供します。
- MP3 ファイルのみならず、WMA、OGG ファイルを再生することができます。
- 3D サラウンドの立体的な音響とベース(Bass)の強化により、深く豊かなサウンドを楽しめます(SRS 機能)。
- 時計機能により、アラームの設定が可能です。
- 再生時間が長いファイルでも、聞きたい場所から再生することができます(ブックマーク(しおり)機能)。
- 画面の表示方向を変えることができます(画面反転機能)。
- 内蔵マイクにより、音声の録音が可能です。
- CD またはカセットテープなどの音楽コンテンツの録音が可能です(ダイレクトエンコーディング機能)。

*[1] MR-F11
*[2] MR-F12
*[3] MR-F13
*[4] WMA 形式、128kbps のファイルを、1 曲 4 分で換算、音楽データのみを入れた場合

目次

録音する

設定と調整

その他

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」の内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品のお取り扱いについて

⚠ 警告

- **水がかかる場所では使用しない。**感電・火災・発熱・破裂の原因となります。雨天や降雪、海岸や水辺での使用は充分に注意してください。また風呂場やシャワー室では使用しないでください。
- **ストーブなど火のそばで使用や放置はしない。**発熱、破裂、火災の原因となります。特に充電中はご注意ください。また電源コード被覆が損傷した場合には火災、感電の恐れがあります。
- **可燃性ガス、爆発性ガス等がある場所では使用しない。**これらのガスが、大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。

- **幼児、子供の手の届く場所に置かない。**保護者の目の届かないところで、使用しないように注意してください。
- **通電中の本体に長時間触れない。**充電中は、本体の温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどの原因となることがあります。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使ったり、保管しない。**火災や感電の原因となることがあります。
- **雷が鳴り出したら使用しない。**感電の原因になりますのでご使用をひかえてください。
- **運転中には使用しない。**けがや事故の原因となります。特に運転しながら表示画面を見ることは絶対に避けてください。
- **内部に水や異物を入れない。**万一、水に落としたり、内部に水が入ったときは、火災や感電の原因となりますので、すぐに電源を切り、販売店または当社修理センター、当社サービスステーションにご相談ください。
- **異臭、過熱、変色、変形、発煙が発生したときは使用しない。**そのまま放置すると火災、感電、やけどなどの原因となりますので、販売店または当社修理センター、当社サービスステーションにご相談ください。
- **液漏れや異臭がする場合には火気から遠ざける。**破裂や発火の原因になります。
- **本体の分解や改造をしない。**内部には電圧の高い部分があり、感電やけがをする原因となります。

⚠ 注意

- **炎天下の車内など高い温度になる所へ放置しない。**内蔵バッテリから液漏れしたり、部品が劣化したり、火災の原因となります。
- **溶液等の漏れがある場合は、溶液に触れない。**本体の内蔵バッテリ等からの液漏れが考えられます。溶液が目に入ったり皮膚に付着したりすると、人体に障害を起こすおそれがありますので触れないでください。溶液に触れた場合には、すぐにきれいな水で充分に洗い流し、医師の治療を受けてください。

製品の使用条件について

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。本製品を使用または保管する場合、以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる場合がありますので、避けてください。
  - 高温多湿または温度･湿度変化の激しい場所、直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
- 本製品を落としたりぶつけたりして、強い振動や衝撃を与えないでください。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、本体内部で結露する場合があります。本体を室内の温度になじませてからご使用ください。
- イヤホンの音量にご注意ください。音量を上げすぎて使用すると、聴力に影響を与える場合があります。

有機 EL ディスプレイについて

本製品の有機 EL ディスプレイは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、有機 EL ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。

内蔵バッテリのお取り扱いについて

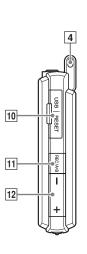
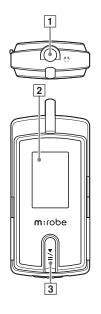
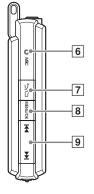
内蔵バッテリは、本製品専用です。その他の機器では使用しないでください。

- **自然放電について**
  内蔵バッテリは本製品を使用していない間も少しずつ自然放電していきます。ご使用になる前に、こまめに充電することをおすすめします。更に長期間ご使用にならない場合でも、バッテリ性能を維持するために、半年に 1 回程度充電することをおすすめします。

- **内蔵バッテリの寿命について**
  –内蔵バッテリは約 500 回充電できます。（数値はあくまでも目安ですので、使用方法によって異なります。）
  –内蔵バッテリは消耗品です。繰り返し使用していると、使用できる時間が徐々に短くなります。十分に充電しても使える時間が極端に短くなった場合は、内蔵バッテリを交換する必要があります。このようなときは、販売店または当社修理センター、当社サービスステーションにご相談ください。

- **使用時の温度について**
  内蔵バッテリは化学製品です。適切な環境で使用しているときでも、内蔵バッテリの持続時間が短くなる場合がありますが、故障ではありません。
  –推奨温度：5 ℃～ 35 ℃（充電時）
  上記の推奨温度範囲外で本製品を使用した場合、内蔵バッテリの持続時間や寿命が短くなるおそれがあります。

- **廃棄について**
  本製品内蔵バッテリには、リチウムポリマーバッテリを使用しています。リチウムポリマーバッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。
  本製品を廃棄されるときは、内蔵バッテリをリサイクル協力店へお持ちください。
  内蔵バッテリを取り外す方法について詳しくは、「m:robe を廃棄されるときのご注意」(☞54 ページ)をご覧ください。なお、廃棄するとき以外は、本製品を絶対に分解しないでください。

各部のなまえと働き

1 イヤホン端子

2 有機EL ディスプレイ

3 ▶/IIボタン
電源を入 / 切します。
ファイルを再生 / 一時停止します。
録音 / ストップウォッチを一時停止します。

4 ネックレスホック

5 HOLDスイッチ
ボタンをロックして誤動作を防ぎます。

6 マイク

7 ⮌/🗀ボタン
ナビゲーション検索を行う / 解除します。

8 MENU/OKボタン
メニュー画面 / モード選択画面を表示します。
ストップウォッチをリセットします。
設定項目を選択 / 決定します。

9 |◀◀ /▶▶|ボタン
音楽再生時:前 / 次のファイルを選択します。
ナビゲーション検索時 *:フォルダ内のファイルを検索します。
メニュー操作時 *:項目を選択します。

10 USB端子/RESETボタン

11 REC/A･Bボタン
音声 / 音楽を録音します。
音楽再生時:A-B 区間の再生を繰り返します。
ブックマーク(しおり)を登録したり、再生します。

12 +/−ボタン
音量を調整します。
ナビゲーション検索時 *:フォルダ内のファイルを検索します。
メニュー操作時 *:項目を選択します。

* 9|◀◀ /▶▶|ボタンと 12+/−ボタンで同様の操作が可能です。本編の操作手順は|◀◀ /▶▶|ボタンを使用して説明しています。

m:robe を準備する

パソコンに必要なシステム構成

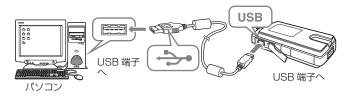
m:robe を使用するには次の動作環境が必要です。

対応 OS: Windows 98SE*, Windows Me, Windows 2000 Professional,
Windows XP Professional/Home Edition,
Mac OS 9.x/X v10.x

* USB ドライバのインストールが必要です。

バッテリを充電する（USB 充電）

USB ケーブルを使い、m:robe とパソコンを接続します。

充電が始まります。

充電が完了すると以下の画面が表示されます。

充電が完了したら、取り外し操作を行ってください。以下の画面が表示されてから m:robe をパソコンから取り外してください。

詳しくは「m:robe をパソコンから取り外す」（☞ 20 ページ）を参照してください。

バッテリインジケータの見かた

▮▮▮：バッテリは完全に充電されています。
▮▮ / ▮：バッテリが消耗しています。
▯：バッテリ残量がありません。充電してください。

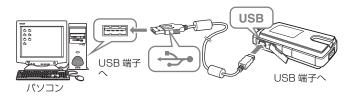
次の場合、バッテリ残量がありませんので充電してください。
– 「バッテリ不足」が表示された。
– すぐに停止する、または動かない。
– 操作してもディスプレイが点灯しない。

補足

- 完全に充電するには、約 3 時間かかります。
- パソコンからファイルを転送している間でも充電することができます。

m:robe に音楽を転送する

1 USB ケーブルを使い、m:robe とパソコンを接続します。

パソコンが m:robe をリムーバブルディスクとして認識します。

2 パソコンを操作して、ファイルを転送します。

希望のファイルをドラッグ＆ドロップして、m:robe に転送します。

m:robe に転送できるファイル形式

音楽ファイル

– WMA（可変ビットレートを含む）
– MP3（可変ビットレートを含む）
– OGG

ご注意

- パソコンで m:robe 内の MUSIC/RECORD/LINE-IN/VOICE などのフォルダ名を変更すると、m:robe が正常に動作しなくなるため、絶対に行わないでください。
- 本製品にファイルおよびフォルダを転送する場合は、フォルダ階層:5 階層以内/フォルダ数:35 個以内/ファイル数:400 個以内にしてください。
- DRM 制限のあるファイルを転送する場合は、音楽配信業者(コンテンツプロバイダ)が提供する専用のアプリケーションを使用してください。
- USBハブやキーボードなどのUSB端子に接続した場合、m:robeを認識しないことがあります。この場合、パソコン本体にある USB 端子に直接接続してください。

m:robe をパソコンから取り外す

Windows Me ／ 2000 ／ XP の場合：

1 システムトレイに表示されている「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。

2 表示されるメッセージをクリックします。

3 「デバイスは安全に取り外すことができます」が表示されたら、「OK」をクリックします。

Windows 98SE の場合：

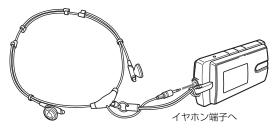
1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして、「リムーバブルディスク」を右クリックしてメニューを表示させます。

2 メニューの「取り出し」をクリックします。

Macintosh の場合：

ディスクトップの「名称未設定」（または「NO_NAME」）アイコンを「ゴミ箱」にドラッグ＆ドロップします。
パソコンとの接続を示すアイコンが消え、m:robe の接続が解除されます。

イヤホン付ネックストラップを取り付ける

イヤホン付ネックストラップを接続します。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を最小にしてからイヤホン付ネックストラップを取り付けてください。音量の調節の操作方法について、詳しくは「音量を調整する」(☞31 ページ)をご覧ください。
- 音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

m:robe の電源を入れる／切る

m:robe の電源を入れる

▶/IIボタンを押します。
電源が入ります。

電源を切るには

▶/IIボタンを押し続けます。

ご注意

- m:robe の電源を入れる前に、HOLD スイッチが入っていないか確認してください。ホールド状態(☞29 ページ)で、▶/IIボタンを押しても🔒が表示され、電源が入りません。
- 充電された状態で電源を入れてください。「バッテリ不足」が表示された場合、あるいはディスプレイが点灯しない場合は充電してください (☞16 ページ)。

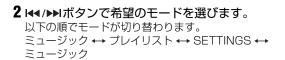
補足

「自動電源 OFF」または「SLEEP モード」を設定することができます (☞51 ページ)。

モードを切り替える

m:robe には 3 つのモードがあり、各モードにより利用できる機能、設定できる項目が異なります。

1 MENU/OKボタンを押し続けます。
モード選択画面が表示されます。

2 ⏮/⏭ボタンで希望のモードを選びます。
以下の順でモードが切り替わります。
ミュージック ↔ プレイリスト ↔ SETTINGS ↔
ミュージック

3 MENU/OKボタンを押します。
希望のモード画面が表示されます。

ミュージック

再生モードの選択、音楽再生の操作や音質の設定を行います（☞30 ページ）。

プレイリスト

プレイリストに登録したお好みの曲を、簡単操作で再生します（☞32 ページ）。

SETTINGS

画面設定、システム設定、時計設定など本体の設定を行います（☞48 ページ）。

ファイルを検索する

－ナビゲーション検索

1 再生画面で⮌/🗀ボタンを押します。
ナビゲーション検索画面が表示されます。

2 ⏮/⏭ボタンで希望のフォルダを選び、MENU/OKボタンを押します。
次の階層に移動します。

3 手順2を繰り返して再生したいファイルを選び、▶/IIボタンを押します。
ファイルの再生が始まります。

一階層前のフォルダに移動する場合：⮌/🗀ボタンを押します。

ナビゲーション検索を終えるには

⮌/🗀ボタンを押し続けます。

基本操作

ファイルを削除する

1 再生画面で⮌/▭ボタンを押します。
ナビゲーション検索画面が表示されます。

2 ⏮/⏭ボタンで希望のフォルダを選び、MENU/OKボタンを押します。

3 手順2を繰り返して、削除したいファイルを選び、MENU/OKボタンを押します。
編集メニューが表示されます。

4 ⏮/⏭ボタンで「削除」を選び、MENU/OKボタンを押します。
確認画面が表示されます。

5 ⏮/⏭ボタンで「OK」を選び、MENU/OKボタンを押します。
ファイルが削除されます。

削除を解除するには

手順 5 で「Cancel」を選び、MENU/OKボタンを押します。

メニューの基本操作

メニュー操作で設定できる項目は、選択したモードにより異なります。メニュー項目については「メニュー一覧」(☞66 ページ)を参照してください。

1 希望のモードを選びます。
詳しくは「モードを切り替える」(☞23 ページ)を参照してください。

2 MENU/OKボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

3 ⏮/⏭ボタンで希望の設定項目を選び、MENU/OKボタンを押します。
サブメニュー画面が表示されます。

4 ⏮/⏭ボタンで希望の項目を選び、MENU/OKボタンを押します。
設定メニュー画面が表示されます。

5 ⏮/⏭ボタンで希望の設定を選び、MENU/OKボタンを押します。

一階層前の項目に移動する場合:⮌/🗀ボタンを押します。

メニュー操作を終えるには

⤺/🗀ボタンを押し続けます。

ご注意

手順５で、設定を選んだ後、MENU/OKボタンを押して確定してください。確定する前に、一階層前の項目に戻った場合、選んだ設定が反映されません。

誤作動を防止する

　－ホールド機能

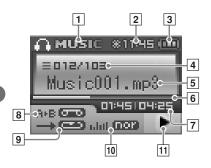
ポケットやカバンに入れて使うときなどに、m:robe の誤作動を防ぐことができます。

HOLD スイッチを矢印の方向に切り替えます。

ホールド状態では「🔒」が表示され、ボタン操作ができません。

ホールド機能を解除するには

HOLD スイッチを矢印と逆の方向に切り替えます。

再生画面について

ミュージック

1 モード表示(MUSIC)

2 時刻表示

3 バッテリー表示

4 現在再生中のファイル番号/
再生対象ファイル数表示

5 曲名表示

6 進行状況表示

7 再生時間表示(☞49ページ)

8 A-B区間リピート表示

9 再生モード表示

10 EQ表示

11 再生状態表示
(再生/一時停止/早送り/早戻し)

音楽を再生する

音楽ファイルを選ぶ

再生画面で⮌/🗀ボタンを押し、⏮/⏭ボタンで希望の音楽ファイルを選びます（☞25ページ）。

音楽の再生 / 一時停止をする

▶/IIボタンを押します。

音量を調整する

＋/－ボタンを押します。

聞きたい曲を検索するには（スキップ）

⏮/⏭ボタンを押すと、前の曲 / 次の曲にスキップします。

聞きたいところを検索するには（サーチ）

再生中に⏮/⏭ボタンを押し続け、聞きたいところで離します。

補足

スキップは「学習モード」が「Off」に設定されているときのみ有効です（☞36ページ）。

プレイリストを使う

プレイリストを再生する前に、お好みの曲を登録してください。

プレイリストに登録する

1 再生画面で⮌/🗀ボタンを押します。
ナビゲーション検索画面が表示されます。

2 ⏮/⏭ボタンで登録したい音楽ファイルを選び、MENU/OKボタンを押します。
編集メニューが表示されます。

3 ⏮/⏭ボタンで「PLAY リスト」を選び、MENU/OKボタンを押します。
ファイルのアイコンがMからPに変わり、プレイリストに登録されます。

編集メニューを終えるには

手順 3 で「Exit」を選び、MENU/OKボタンを押すか、⮌/🗀ボタンを押します。

プレイリストを再生する

1 再生画面でMENU/OKボタンを押し続けます。
モード選択画面が表示されます。

2 ⏮/⏭ボタンで「プレイリスト☰」を選び、MENU/OKボタンを押します。
再生画面が表示されます。

3 ↩/⌂ボタンを押します。
プレイリストが表示されます。

4 ⏮/⏭ボタンで希望の音楽ファイルを選び、▶/IIボタンを押します。
再生が始まります。

プレイリストから削除するには

手順3で、削除したい音楽ファイルを選び、MENU/OKボタンを押します。削除するファイルのアイコンが🄿から🄼に変わります。解除する場合はもう一度MENU/OKボタンを押します。

再生のしかたを設定する

再生モードを設定する

1 再生画面でMENU/OKボタンを押します。

2 ⏮/⏭ボタンで「再生」を選び、MENU/OKボタンを押します。

3 ⏮/⏭ボタンで「再生モード」を選び、MENU/OKボタンを押します。

4 ⏮/⏭ボタンで希望の再生モードを選び、MENU/OKボタンを押します。

(ノーマル)：順番に再生します。
(イントロ)：曲の最初の部分 (10 秒) を再生して行きます。
(リピート)：指定された音楽ファイルを繰り返し再生します。
(リピート ALL)：全ての音楽ファイルを繰り返し再生します。
(ランダム)：一度だけランダムに再生します。
(ランダム ALL)：繰り返しランダム再生します。

補足

再生モードでは、「再生対象」で選択したフォルダ内のファイルを再生します（☞35 ページ）。

再生対象を設定する

全フォルダ内の音楽ファイルを再生するか、現在のフォルダ内の音楽ファイルを再生するかを設定します。

1 再生画面でMENU/OKボタンを押します。

2 ⏮/⏭ボタンで「再生」を選び、MENU/OKボタンを押します。

3 ⏮/⏭ボタンで「再生対象」を選び、MENU/OKボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
「フォルダごと」:現在のフォルダ内の音楽ファイルを再生します。
「全部」:全フォルダ内の音楽ファイルを再生します。

4 ⏮/⏭ボタンを押して希望の設定を選び、MENU/OKボタンを押します。

学習モードを設定する

⏮/⏭ボタンを操作した時、再生中のファイルを設定した時間だけ早送り / 早戻しします。

1 再生画面でMENU/OKボタンを押します。

2 ⏮/⏭ボタンで「再生」を選び、MENU/OKボタンを押します。

3 ⏮/⏭ボタンで「学習モード」を選び、MENU/OKボタンを押します。

4 ⏮/⏭ボタンで「On/Off」を選び、MENU/OKボタンを押します。

5 ⏮/⏭ボタンで「On」を選び、MENU/OKボタンを押します。

6 ⏮/⏭ボタンで「ステップ」を選び、MENU/OKボタンを押します。

7 ⏮/⏭ボタンで希望の時間(2 秒 /5 秒 /15 秒 /30 秒 /60 秒)を選び、MENU/OKボタンを押します。

学習モードを解除するには

手順 5 で「Off」を選び、MENU/OKボタンを押します。

区間 (A-B) リピートを設定する

設定した区間をリピートします。

1 ファイルを再生し、区間リピートを始める部分 (Repeat A) で REC/A･B ボタンを押します。

2 区間リピートを終える部分 (Repeat B) で REC/A･B ボタンを押します。
設定した区間がリピート再生されます。

区間リピートを解除するには

REC/A･B ボタンを押します。

補足

- Repeat B(区間リピートを終える部分)を設定しない場合は、Repeat A の設定が解除されます。
- Repeat B(区間リピートを終える部分)の設定は、Repeat A(区間リピートを始める部分)を設定してから 2 秒後以降に可能になります。

EQ/WOW を設定する

EQ を選択する

1 再生画面でMENU/OKボタンを押します。

2 ⏮/⏭ ボタンで「EQ」を選び、MENU/OKボタンを押します。

3 ⏮/⏭ ボタンで「EQ」を選び、MENU/OKボタンを押します。

4 ⏮/⏭ ボタンで希望の EQ を選び、MENU/OKボタンを押します。

User EQ を調整する

1 再生画面でMENU/OKボタンを押します。

2 ⏮/⏭ ボタンで「EQ」を選び、MENU/OKボタンを押します。

3 ⏮/⏭ ボタンで「ユーザ設定 1」または「ユーザ設定 2」を選び、MENU/OKボタンを押します。

4 ⏮/⏭ ボタンでレベルを調整し、MENU/OKボタンを押します。

EQ
50 200 1K 3K 14K
+12
0
-12

5 手順 4 を繰り返し、各レベルを調整します。

調整を終えるには

⮌/🗀ボタンを押します。

WOW を設定する

自然な立体音場感 (SRS) 、豊かな低音 (Trubass) を楽しむことができます。

1 再生画面でMENU/OKボタンを押します。

2 ⏮/⏭ ボタンで「EQ」を選び、MENU/OKボタンを押します。

3 ⏮/⏭ ボタンで「WOW」を選び、MENU/OKボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
「SRS」: 3D サラウンドを調整します。
「Trubass」: 低音を調整します。
「調節」: イヤホンやスピーカーを設定します。

4 ⏮/⏭ ボタンで希望の設定項目を選び、MENU/OKボタンを押します。

5 ⏮/⏭ ボタンで希望のレベルを選び、MENU/OKボタンを押します。

ご注意

WOW を設定すると大音量で再生される場合があります。

曲のブックマーク(しおり)を登録する

登録したい曲の再生中に、REC/A･Bボタンを押し続けます。
メッセージが表示され、ブックマークに登録されます。

ご注意

ブックマークの登録は、再生停止中にはできません。

ブックマークを再生する

ブックマークの再生は、「ミュージック」で行います。

1 再生停止中に、REC/A･Bボタンを押します。

2 ⏮/⏭ボタンを押して希望のブックマークを選び、▶/IIボタンを押します。
ブックマークに登録した位置から再生します。

登録内容を削除する

登録されたブックマーク(しおり)、プレイリストを削除します。

1 再生画面でMENU/OKボタンを押します。

2 ⏮/⏭ボタンで「削除」を選び、MENU/OKボタンを押します。

3 ⏮/⏭ボタンで削除する項目(ブックマーク / プレイリスト)を選び、MENU/OKボタンを押します。
登録されているファイルが表示されます。

4 ⏮/⏭ボタンで希望のファイルを選び、MENU/OKボタンを押します。
削除するファイルのアイコンが☆または🄿から🄼に変わります。解除する場合はもう一度MENU/OKボタンを押します。

ご注意
ブックマーク(しおり)やプレイリストの情報が削除されても、実際のファイルは削除されません。

録音画面について

録音モード

1 モード表示(REC)

2 時刻表示

3 バッテリー表示

4 録音方式(MIC/LINE)表示

5 ファイル名表示

6 ビットレート表示

7 サンプリング周波数表示

8 録音状態表示
(録音中/録音一時停止)

9 録音時間の表示

音声を録音する

1 再生画面でMENU/OKボタンを押します。

2 ⏮/⏭ボタンを押して「音源」を選び、MENU/OKボタンを押します。

3 ⏮/⏭ボタンを押して「マイク」を選び、MENU/OKボタンを押します。

4 再生停止中にREC/A･Bボタンを押し続けます。
録音が始まります。

録音を一時停止 / 再開するには

▶/IIボタンを押します。

録音を終えるには

REC/A･Bボタンを押します。

録音した音声ファイルを聴く

再生画面で⮌/🗀ボタンを押してナビゲーション検索画面を表示させ、「RECORD」→「VOICE」→ 希望の音声ファイルを選び、▶/IIボタンを押します。

音質を設定する

再生画面でMENU/OKボタンを押し、「録音」→「音質」→ 希望のビットレートを選びます。

録音した音声ファイルを削除する

「ファイルを削除する」(☞26 ページ)を参照してください。

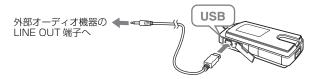
ご注意

- メモリがなくなると録音が自動的に停止し、停止した位置までのファイルが保存されます。
- 音源の距離によって録音感度が変わります。
- 十分な電池がない場合、正常に録音されません。

補足

- 録音中に録音内容をイヤホンで聞くことができます。
- ビットレートが大きいほど高音質になりますが、ファイルサイズも大きくなります。
- 録音内容はVR001.MP3、VR002.MP3…と自動的にファイル名が付けられ、MP3形式でVOICE フォルダに保存されます。

Line In 接続で録音する

1 LINE-INケーブルを使い、m:robeと外部オーディオ機器を接続します。

2 再生画面でMENU/OKボタンを押します。

3 ⏮/⏭ボタンを押して「音源」を選び、MENU/OKボタンを押します。

4 ⏮/⏭ボタンを押して「ライン」を選び、MENU/OKボタンを押します。

5 再生停止中に外部オーディオ機器を再生し、REC/A･Bボタンを押し続けます。

録音が始まります。

録音を一時停止 / 再開するには

▶/II ボタンを押します。

録音を終えるには

REC/A･Bボタンを押します。

録音したファイルを聴く

再生画面で⮌/🗀ボタンを押してナビゲーション検索画面を表示させ、「RECORD」→「LINE-IN」→希望のファイルを選び、▶/II ボタンを押します。

音質を設定する

再生画面でMENU/OKボタンを押し、「録音」→「ライン音質」→ 希望のビットレートを選びます。

録音したファイルを削除する

「ファイルを削除する」（☞26 ページ）を参照してください。

ご注意

- メモリがなくなると録音が自動的に停止し、停止した位置までのファイルが保存されます。
- 十分な電池がない場合、正常に録音されません。

補足

- 録音中に録音内容をイヤホンで聞くことができます。
- ビットレートが大きいほど高音質になりますが、ファイルサイズも大きくなります。
- 録音内容は AD001.MP3, AD002.MP3…と自動的にファイル名が付けられ、MP3形式で LINE-IN フォルダに保存されます。

無音検出を設定する

音楽を録音する時に、無音部分ごとにファイルを区切って保存します。

1 再生画面でMENU/OKボタンを押します。

2 ⏮/⏭ボタンで「録音」を選び、MENU/OKボタンを押します。

3 ⏮/⏭ボタンで「無音検出」を選び、MENU/OKボタンを押します。

4 ⏮/⏭ボタンを押して「On」を選び、MENU/OKボタンを押します。

「On」: 曲ごとに音楽ファイルを作成します。
「Off」: 曲ごとに区切らず 1 つの音楽ファイルを作成します。

無音検出を解除するには

手順 4 で「Off」を選び、**MENU/OK**ボタンを押します。

m:robe を設定する

システム、画面表示、タイマー、時計、OS 関連の設定と調整を行います。

1 MENU/OK ボタンを押し続けます。
モード選択画面が表示されます。

2 ⏮/⏭ボタンで「SETTINGS⚙」を選んで、MENU/OKボタンを押します。

3 ⏮/⏭ボタンで希望の設定項目を選び、MENU/OKボタンを押します。
設定メニュー画面が表示されます。

4 ⏮/⏭ボタンで希望の設定を選び、MENU/OKボタンを押します。

一階層前の項目に移動する場合：↩/🗀ボタンを押します。

メニュー操作を終えるには

↩/🗀ボタンを押し続けます。

Setting

システム関連の設定を行います。

項目	説明
情報保持	電源を切る前に再生されていたファイルの位置を記憶し、電源が入った時に同じ位置から再生します。
サーチ速度	曲の検索速度(4 倍 /8 倍 /16 倍)を設定します。
フェードイン	音楽再生時、設定された音量まで徐々に音量を上げていきます。
再生時間表示	音楽ファイルの再生時間表示を選択することができます。 「ノーマル」:音楽ファイルの再生経過時間を表示します。 「残り時間」:音楽ファイルの再生残り時間を表示します。 「合計」:経過時間 / 再生曲時間を表示します。
Language	メニュー表示用の言語(한국어/ENGLISH/日本語/简体中文/繁體中文)を設定します。
画面反転表示	画面の向きに合わせて、表示内容を回転させます。 「On」:表示内容を 180°回転させて表示します。 「Off」:通常の向きで表示します。

回 ディスプレイ

画面表示関連の設定を行います。

項目	説明
コントラスト	画面の明るさ(0 ～ 10)を設定します。
スクロール	ファイル名のスクロール速度(1 ～ 5)を設定します。
バックライト	有機 EL 発光時間 (5 秒 /15 秒 /30 秒 /60 秒 /120 秒) を設定します。
画面表示	グラフィックイコライザーの表示パターン (Wave/Stereo Image/Pumping/Watch/ ファイル情報) を選択します。
タイトル表示	曲名として表示する情報(ファイル名 /ID3 Tag)を設定します。

タイマー

タイマー関連の設定を行います。

項目	説明
自動電源 OFF	一時停止 / 停止中、一定時間(1 分〜 10 分)ボタン操作がない場合、自動的に電源が切れるように設定します。
SLEEP モード	設定した時間(10 分〜 90 分)が経つと自動的に電源を切ります。

時計

時計関連の設定を行います。

項目	説明
時計	ボタン操作が一定時間行われない場合、時計を表示します。 「On/Off」:時計を表示するか設定します。 「設定」:年、月、日、時間を設定します。
アラーム	設定した時間にアラームを鳴らします。 「On/Off」:アラームを設定します。 「設定」:アラームを鳴らす時刻と回数を設定します。
STOPWATCH	ストップウォッチが使えます。 ▶/IIボタンを押すとカウントが始まります。再び▶/IIボタンを押すと停止します。 リセットするには、**MENU/OK**ボタンを押します。

ⓘ システム

オペレーティングシステム関連の設定を行います。

項目	説明
情報	m:robe OS バージョン、全体のメモリ容量、使用可能なメモリ容量を表示します。
リセット	m:robe の設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

お手入れについて

m:robe の外側

柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから拭き取ってください。海辺で使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ってください。

有機 EL ディスプレイ

有機 EL ディスプレイに付いたゴミや汚れは、柔らかい布でやさしく拭き取ってください。

ご注意

ベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾は使用しないでください。

m:robe を廃棄されるときのご注意

本製品を廃棄されるときは内蔵バッテリを取り外してください。廃棄するとき以外は、本製品を絶対に分解しないでください。

⚠ 危険

- **内蔵バッテリの電極 (+ と − 端子) に金属類を近づけたり、強い衝撃を与えない。**またネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。電極がショートすると、発熱、破裂、発火の原因となります。
- **内蔵バッテリを加熱･分解･改造したり、火や水の中に入れたり、炎天下へ放置しない。**発熱、破裂、発火の原因となります。
- **内蔵バッテリに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、投げつけたり、踏みつけたりしない。**発熱、破裂、発火の原因となったり、液漏れの原因になります。
- **内蔵バッテリのコネクタに絶縁テープを貼る。**電極がショートすると、発熱、破裂、発火のおそれがあります。

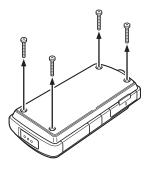
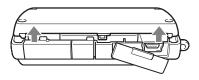
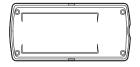
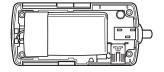
その他

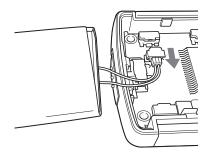
⚠ 警告

- **内蔵バッテリを、幼児、子供の手の届く場所に置かない。**けがなどの事故の原因となります。
- **内蔵バッテリの液が漏れて触ったり目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること。**そのままにしておくと、皮膚や目に障害が起きる原因となります。

バッテリの取り外しかた

1 m:robe の電源が入っている場合は、▶/IIボタンを押し続けて電源を切ります。

2 裏面のネジ4箇所を精密ドライバーで外します。

USB 端子 /RESET ボタンカバーを外して、裏面のカバーを手前から持ち上げます。

3 裏面のカバーを外します。

4 内蔵バッテリを取り出します。

バッテリを持ち上げ、コネクタ部分を引き抜きます。

取り外した内蔵バッテリは、ケーブルのコネクタ部をテープで覆うようにして
バッテリ本体に取り付けて、ポリ袋などに入れてください。

ご注意

- 内蔵バッテリは完全に消耗したことを確認してから、取り外してください。
- 電源が切れていることを確認してから取り外してください。
- 一度取り外した内蔵バッテリは、再び接続しないでください。
- 取り出した内蔵バッテリはなるべく早めに充電式バッテリリサイクル協力店へお持ちください。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、地方自治体にお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。
なお、修理・点検に出されるときには、必ずバックアップをお願いします。修理・点検によりメモリへの書き込みや消去等を行うことがあり、お客様のデータが損なわれることがあります。当社においては、著作権上から修理・点検に際して、データのコピーをいたしておりません。データの修復はできませんのであらかじめバックアップをしてからお出しください。
また、故障によるデータの喪失を防ぐためにも、バックアップをこまめにお取りいただくことをおすすめします。

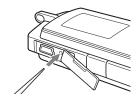
こんなときは	原因・状態	こうしましょう
電源が入らない	ホールド機能が設定されている。	ホールドを解除してから▶/IIボタンを押してください（☞29 ページ）。
電源が切れる	「自動電源 OFF」または「SLEEP モード」が設定されている。	「自動電源 OFF」または「SLEEP モード」を「Off」もしくはお好みの時間に設定してください（☞51 ページ）。
	「自動電源 OFF」または「SLEEP モード」が動作した。	▶/IIボタンを押して電源を入れてください（☞22 ページ）。
操作を受け付けない	ホールド機能が設定されている。	ホールドを解除してください（☞29 ページ）。
本体が熱くなる	長時間使用すると本製品の温度が上がります。	故障ではありません。

こんなときは	原因・状態	こうしましょう
バッテリの持続時間が短い	内蔵バッテリは充電回数、使用時間により性能が少しずつ劣化します。目安として約 500 回充電できます。	充電してもすぐに内蔵バッテリが消耗する場合は当社のサービスステーションにてバッテリを交換してください。
画面に何も表示されない	バッテリの残量がない。	充電してください（☞16 ページ）。
画面が見えにくい	バッテリの残量がない。	充電してください（☞16 ページ）。
	コントラストが薄く設定されている。	「コントラスト」を調整してください（☞50 ページ）。
画面が消灯する	有機 EL の発光時間のタイマーが作動した。	「バックライト」をお好みの時間に設定してください（☞50 ページ）。
音楽／音声が聞こえない	音量が最小になっている。	聞きやすい音量に設定してください（☞31 ページ）。
	イヤホン付ネックストラップが正しく接続されていない。	イヤホン端子が正しく接続されているか確認してください（☞21 ページ）。
転送したはずのファイルが見つからない	対応してない形式のファイルが転送された。	ファイル形式を確認して再転送してください（m:robe 内の認識しないファイルは削除してください）。

こんなときは	原因・状態	こうしましょう
転送したはずのファイルやフォルダが見つからない	フォルダ階層、フォルダ数、ファイル数の制限を越えている。	制限を確認して再転送してください（☞ 19 ページ）。
ファイル名などの文字が空白になったり、文字化けして表示される	ファイル名や ID3 タグに特殊記号を使用している。	「Language」を「日本語」、「タイトル表示」を「ファイル名」に設定すると正常に表示される場合があります（☞ 49、50 ページ）。ただし、本製品の対応フォントの制限により、一部の特殊記号は正常に表示されません。

m:robe を再起動する

チェック表に従って処置を行っても解決しないときは、m:robe を再起動してください。問題が解決する場合があります。

ペンのような先のとがったもので、RESET ボタンを押します。

補足

m:robe を再起動しても、データは消去されません。

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名·お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満 1 年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにお問い合せください。
- 本製品の保証、修理、サービスは日本国内でのみ有効です。本製品は国内専用のため、海外では修理できません。
- 本製品の故障に起因する付随的損害(音楽の購入、取得に要した諸費用等を含む)については補償しかねます。また運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また、控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。
- 修理のために取り外した部品の所有権は当社に属するものとします。
- 点検、修理によりメモリへの書き込みや消去等を行うことがあり、記録した内容は失われる場合があります。点検、修理に出す前に必ずバックアップをしてください。また、記録された内容の変化、消失による損失に関しては、一切の責任を負いかねます。

- 当社では、損失した記録内容の復旧、修復作業はお受けいたしておりません。また、当社においては、著作権上から修理、点検に際して、記録内容のコピーをいたしておりません。データの書き戻しをお求めの際には、修理をお引き受けできない場合がございます。

仕様

本体

項目	内容
製品名	DIGITAL AUDIO PLAYER
型番	MR-F10
内蔵バッテリ	リチウムポリマーバッテリ
質量	約 25g(バッテリ含む)
外形寸法	約 32 x 65 x 15 mm (幅 x 高さ x 奥行き) (最大突起部を除く)
ディスプレイ	OLED(有機 EL ディスプレイ) 96 x 64 ピクセル、 約 65,000 色
記録媒体	内蔵フラッシュメモリ 256MB(MR-F11)*1 512MB(MR-F12)*1 1GB (MR-F13)*1
対応ファイル形式	音楽ファイル: Windows Media Audio (WMA) MPEG-1/MPEG-2/MPEG-2.5 Audio Layer 3 (MP3) Ogg Vorbis (OGG)
エンコードフォーマット	MP3
レコーディングフォーマット	MP3
最大保存曲数	約 60 曲 (MR-F11)*2 約 120 曲 (MR-F12)*2 約 240 曲 (MR-F13)*2
オーディオ連続再生時間	約 10 時間(MP3)*3

ビットレート	WMA: 32 ～ 192kbps(可変ビットレートを含む) MP3: 16 ～ 320kbps(可変ビットレートを含む) OGG: 16kbps ～ 256kbps (Mono)、64kbps ～ 320kbps (Stereo) (可変ビットレートを含む)
使用条件	温度 : 5 ～ 35 ℃ 湿度 : 30 ～ 90%(結露のないこと)
充電時間	約 3 時間(専用 USB ケーブル使用時)
USB ポート	USB2.0
イヤホン端子	3.5mm ジャック / ステレオタイプ

*[1] 1GB を 10 億バイトで計算した場合の数値
(実際のフォーマットされた容量は 256MB/512MB/1GB 以下となります。)
*[2] 音楽データのみを入れた場合
WMA/MP3 形式、128kbps のファイルを 1 曲 4 分で換算時
*[3] 常温 (25 ℃)、バックライト非点灯、調整範囲の中央の音量で 128kbps、44.1kHz の WMA/MP3 形式のデータの場合
この連続再生時間は使用条件、使用周囲温度、内蔵バッテリの充電の繰り返し回数などによって異なるため、あくまで目安であり、保証する時間ではありません。

仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

メニュー一覧

ミュージック
再生
再生対象
フォルダごと
全部
再生モード
ノーマル
イントロ
リピート
リピートALL
ランダム
ランダムALL
学習モード
On/Off
On
Off
ステップ
2秒
5秒
15秒
30秒
60秒
EQ
EQ
ノーマル
ROCK
JAZZ
CLASSIC
POP
WOW
ユーザ設定1
ユーザ設定2
WOW
SRS
1~10
Trubass
1~10
調節
イヤホン
スピーカ
ユーザ設定1
ユーザ設定2

録音
音質
32
64
96
128
ライン音質
64
96
128
192
無音検出
On
Off
音源
マイク
ライン
削除
ブックマーク
プレイリスト

その他

SETTINGS
Setting
情報保持
On
Off
サーチ速度
4倍
8倍
16倍
フェードイン
On
Off
再生時間表示
ノーマル
残り時間
合計
Language
한국어
English
日本語
简体中文
繁體中文
画面反転表示
On
Off
ディスプレイ
コントラスト
0~10
スクロール
1~5
バックライト
5秒
15秒
30秒
60秒
120秒
画面表示
Wave
Stereo Image
Pumping
Watch
ファイル情報
タイトル表示
ファイル名
ID3 Tag
タイマー
自動電源OFF
Off~10分
SLEEPモード
Off~90分
時計
時計
On/Off
On
Off
設定
アラーム
On/Off
On
Off
設定
STOPWATCH
システム
情報
リセット
OK
キャンセル

その他

索引

英数 / 記号

あ

い

お

か

く

こ

さ

し

す

せ

た

お問い合わせいただく前に(お願い)

- より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが以下の内容をあらかじめご確認ください。
- FAX または郵便でお問い合わせいただく場合は、必ずご記入ください。
- 問題が発生したときの症状・表示されたメッセージ・症状の再現性など:
  パソコンが関係する問題は、とくに正確な状況把握が難しいので、お手数ですができるだけ詳しくお知らせください。

- お名前(フリガナ)
- 連絡先:郵便番号
  ご住所(自宅か会社のいずれかを明記願います)
  電話番号 /FAX
  E-mail
- 製品名(型番):
- シリアル番号(製品側面に記載されています):
- お買い上げ日:

※以下は、本製品をパソコンと接続してご使用、またはソフトウェアをご使用の場合にお確かめください。

- ご使用のパソコンの種類:
  パソコンメーカー・型番等
- メモリの容量　ハードディスクの空き容量:
- OS 名とバージョン:
  コントロールパネルーシステムーデバイスマネージャーの内容
- その他接続されている周辺機器:
- 問題のご使用アプリケーションソフト名とバージョン:
- 問題のご使用当社ソフト名とバージョン:

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1新宿モノリス

ホームページによる情報提供について
製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報を弊社ホームページで提供しております。オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「**お客様サポート**」のページをご参照ください。

商品に関するお問い合わせ窓口（カスタマーサポートセンター）
フリーダイヤル 0120-084215
携帯電話・PHSからは 0426-42-7499
FAX　0426-42-7486
調査等の都合上、回答までお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間・最新情報については オリンパスホームページにて情報を提供しております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「**お客様サポート**」のページをご参照ください。

修理に関するお問い合わせ・修理品ご送付先（修理センター）、国内サービスステーション（修理窓口）につきましては、
本製品に同梱の「**オリンパス代理店リスト**」、またはオリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「**お客様サポート**」のページをご参照ください。

※記載内容は変更されることがあります。最新情報はオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ をご確認ください。

Printed in Korea　　J1-NG0892-02